

## 2020（令和2）年度，2021（令和3）年度研究課題？ 覽 研究課題？覽

雑誌名	甲南学園平生太郎基金科学研究報告書
巻	14
発行年	2023-03-31
URL	<a href="http://id.nii.ac.jp/1260/00004600/">http://id.nii.ac.jp/1260/00004600/</a>

## 2020（令和2）年度研究課題一覧

申請者	研究課題	助成額	
西村 いくこ 特別客員教授 (植物分子細胞生物学)	植物オルガネラ動態研究を基盤とするバイオテクノロジー研究拠点形成	880万円	※
久原 篤 理工学部生物学科 教授 (分子神経遺伝学)	細胞や臓器の低温長期保存に向けた遺伝子解析	520万円	※
渡邊 順司 理工学部機能分子化学科 教授 (生体材料創成学)	新規ポリマーアロイ創製法の開拓を基軸とした研究拠点形成	600万円	
杉本 直己 先端生命工学研究所 教授 (生命分子化学)	核酸の構造及び安定性の制御に基づく新規の脳疾患抑制法の開発	1500万円	

## 2021（令和3）年度研究課題一覧

申請者	研究課題	助成額	
日下部 岳広 理工学部生物学科 教授 (発生生物学・神経生物学)	脳機能の鍵を握るグリア細胞の新規研究モデルの開発と利用	500万円	※
久原 篤 理工学部生物学科 教授 (分子神経遺伝学)	細胞や臓器の低温長期保存に向けた遺伝子解析	450万円	※
上田 晴子 理工学部生物学科 准教授 (植物細胞生物学)	植物オルガネラ動態研究を基盤とするバイオテクノロジー研究拠点形成	800万円	※
渡邊 順司 理工学部機能分子化学科 教授 (生体材料創成学)	新規ポリマーアロイ創製法の開拓を基軸とした研究拠点形成	400万円	
三好 大輔 フロンティアサイエンス学部 教授 (分子設計化学)	核酸とタンパク質の相分離を制御するー神経変性疾患とがんの革新的治療薬の創成を目指してー	400万円	※
杉本 直己 先端生命工学研究所 教授 (生命分子化学)	核酸の構造及び安定性の制御に基づく新規の脳疾患抑制法の開発	1300万円	

※印は2022年度へ継続する研究課題であるため、報告書は次号以降に掲載する。